

令和2年度阪神南センター地域創生アクション・プラン

I 目指す姿

阪神南地域は、中央部の武庫川、東部の猪名川水系が育む豊かな自然と共生しながら個性的な都市群を形成するとともに、特色のあるものづくり産業が集積している地域であり、鉄道・高速道路等の利便性の高い交通ネットワークが構築されている。

歴史的に見れば、「阪神間モダニズム」と呼ばれる独自の市民文化を生み出すとともに、多彩な市民活動が実践されるなど、日本のライフスタイルを先導してきた地域であり、特色のある美術館、博物館等の芸術・文化施設、大学、短期大学等の教育機関、甲子園球場や尼崎スポーツの森をはじめとするスポーツ施設が充実している。

阪神南県民センターでは、少子高齢化の進展や本格的な人口減少の中にあっても、人口減少を抑制しつつ、将来にわたって活力ある地域社会を構築するため、平成27年度に阪神南地域創生戦略を策定し、これまで様々な施策に精力的に取り組んできた。その結果、最大の懸案であった「子育て世代である30～39歳人口の転出超過」が転入超過に転じるとともに、市町内総生産（実質）も順調に伸びている。

これらの成果を持続可能なものとするため、阪神南地域の特性・強みを活かした施策展開を通じ、SDGsの視点なども踏まえて、県民、市民、企業、団体等と連携しながら、引き続き、誰もが住んでみたい、住んで良かったと思える「安心して暮らせる阪神南地域」の実現を目指す。

【目標】「安心して暮らせる阪神南地域」の実現

(数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値)

KPI	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
住んでいる地域は芸術文化に接する機会があると思う人の割合		前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	①前年度を上回る
	42.5% (R1)					
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合		80%	80%	80%	80%	②80%以上
	80.6% (R1)					
観光入込客数		14,917人	15,138人	15,359人	15,580人	③15,800人
	14,475千人 (H30速報)					
社会増減		転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	④転入超過の維持
	1,096人 (R1)					
住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合		前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	⑤前年度を上回る
	53.8% (R1)					
災害の備えが確かなものと思う人の割合		39.1%	43.1%	47.1%	51.1%	⑥55%以上
	35.1% (R1)					
治安がよく、安心して暮らせると思う人の割合		72.8%	74.6%	76.4%	78.2%	⑦80%以上
	71.0% (R1)					

自転車違反摘発件数の 全県に対する割合		70.9%	65.7%	60.5%	55.3%	⑧50%以下
	76.1% (R1)					
市町内総生産（実質）		3兆4,062 億円	3兆4,449 億円	3兆4,836 億円	3兆5,223 億円	⑨3兆5,608億円 以上(H28*110%)
	3兆3,288億円 以上(H30速報)					
開業率		6.8%	—	—	8.0%	⑩8.0%以上
	5.7%(H26~28期)					

○目標設定の考え方

- ①県民意識調査の結果が、毎年前年を上回る（H30：43.5%）
- ②自己ベストの更新（県民意識調査H25：80.1%）
- ③自己ベストの更新（H21：15,776人）
- ④H29に転入超過（+40人（日本人））に転じた状況を維持
（R1：日本人▲616人、外国人1,712人、計1,096人）
- ⑤県民意識調査の結果が、毎年前年を上回る（H30：59.4%）
- ⑥自己ベストの更新（県民意識調査H22：52.9%）
- ⑦自己ベストの更新（県民意識調査H28：80%）
- ⑧自己ベストの更新（H25：54.1%）
- ⑨H28：3兆2,371億円の10%増
- ⑩自己ベストの更新（H24~26期：7.8%）

II 取組の方向性

1 文化・スポーツを振興し、にぎわいを創出する

阪神間モダニズムに代表される阪神地域の多様な芸術文化資源を再評価し磨きをかけることにより、芸術文化の魅力あふれる住み心地の良いまちとして住民の地域への愛着を育むとともに、地域の魅力を情報発信することにより、交流人口の拡大につなげ、にぎわいを創出する。

2 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

多くの若者が阪神南地域に転入する一方で、乳幼児や学童期の児童とその親の世代の転出が顕著であることから、地域や企業と一体となった子育て支援などにより、若者が定着し、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる。

3 安全・安心で住みやすい地域をつくる

南海トラフ巨大地震などの自然災害から住民の安全を守るため、防災・減災対策に取り組むとともに、ひったくり防止などの防犯対策や自転車の安全対策に取り組むほか、地域の担い手の確保などにより、安全・安心で住みやすい地域をつくる。

4 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

ものづくり産業の集積地としての強みを生かし、イノベーションの促進と雇用の創出を図るため、企業のネットワークを生かした付加価値の高いものづくり産業の発展を促し、新たな起業による担い手の増加や中小企業の新事業展開、まちなか再生に向けた商店街の活性化を図る。

Ⅲ 具体的な取組（主なもの）

1 文化・スポーツを振興し、にぎわいを創出する

（1）阪神間モダニズム再発見プロジェクトの推進《新規・3,558千円》

【主な事業】

- ①阪神間モダニズムを整理・評価し暮らしの向上につなげる、基本構想の策定
- ②主要作品を手軽に鑑賞できるホームページ等を構築する、「具体美術」普及事業～GUT A Iバーチャル美術館開設～
- ③建築物のVRミュージアムや、モダニズム文化を体験する、モダニズム文化活用事業
- ④地域住民に阪神間モダニズムを啓発する、「阪神間モダニズムセミナー」の開催及び、阪神南ゆかりの芸術公演等の鑑賞促進

（2）交流の拡大及びにぎわいの創出《28,204千円》

【主な事業】

- ①モダニズム探訪や清酒体験などの、スペシャリストと巡る阪神間ぐるっとツアーの実施《拡充》
- ②美術館等が平日にも無料開放を行う、阪神地域オープンミュージアム 無料開放DAY《拡充》
- ③地域内に存在する様々な有形文化財を後生に残す、阪神アートVRミュージアム構築事業《新規》
- ④阪神南地域の魅力を発信しふるさと意識を高揚する、あにあん倶楽部プロモーション事業《拡充》
- ⑤生涯スポーツの機運醸成とすそ野拡大を図る、阪神南ふれあいスポーツフェスタの開催
- ⑥自転車で地域を巡り、あふれる魅力を体感するサイクリングモデルルートの新設《新規》

（3）阪神なぎさ回廊プロジェクトの推進《1,000千円》

【主な事業】

- ①「森と水と人が共生する環境創造のまち」を実現する、尼崎の森中央緑地の整備
- ②森、植物など自然環境の大切さを学ぶ、尼崎の森中央緑地の利活用
- ③まちを、浜辺を、森を駆け抜け、魅力を再発見するサイクルイベントの開催
- ④運河クルージング及び、運河博覧会の開催などの、尼崎運河の活用

（4）ふるさと意識の涵養《5,370千円》

【主な事業】

- ①参画と協働により地域づくり活動を実践する、阪神南県民交流大会
- ②森づくり活動を子どもの成長とともに家族で体験できる、尼崎の森ファミリークラブ
- ③地域が抱える課題解決や地域活性化への取組を支援する、阪神南ふるさとづくり応援事業

2 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

(1) 若者・女性の雇用・就業支援 《1,624 千円》

【主な事業】

- ①高校生・大学生がものづくり現場の実態、ものづくりの楽しさに触れるきっかけを創出するため、ものづくり出張セミナー、産業用ロボットセミナー、就業体験バスツアーを実施する、若者ものづくり人材確保支援事業

(2) 出会いの機会づくり

【主な事業】

- ①未婚化・晩婚化対策として、結婚を希望する独身男女の候補者選びをお手伝いし、お見合いの機会を提供する、出会いサポートセンターの運営

(3) 地域や企業と一体となった子育て支援 《410 千円》

【主な事業】

- ①都市部の未就学児の親子に、季節毎の森の魅力を感じてもらい、森の子育てひろば事業
- ②親子による野球観戦や小学生スナッグゴルフ大会などの、青少年健全育成活動の実施
- ③親子にスポーツや演劇を鑑賞する機会を提供する、青少年文化体験教室の実施

3 安全・安心で住みやすい地域をつくる

(1) 防災・減災対策の充実 《1,100 千円》

【主な事業】

- ①平成 30 年台風第 21 号による道路、港湾・海岸、公園、下水の災害復旧
- ②平成 30 年台風第 21 号の被災を踏まえた、兵庫県高潮対策 10 箇年計画に基づく高潮対策
- ③救援物資等の備蓄・集積・搬送、応急活動要員の拠点となる、阪神南広域防災拠点の運営
- ④まちを津波・高潮から守る施設を間近に見て、親子等で防災意識の高揚を図る、尼ロック防災展示室の特別公開
- ⑤防災・減災に関する知識を養う、防災・減災学習会、出前講座の開催
- ⑥大規模災害発生時における企業経済活動の継続を図るため、BCP(事業継続計画)策定及びBCPの実効性を高めるために実施する訓練等に対して支援【全県事業】

(2) 防犯対策の強化 《1,150 千円》

【主な事業】

- ①市、警察署、防犯協会等と連携して実施する、ひたたくり防止キャンペーン事業
- ②子どもの安全・安心確保のリーダーのネットワークづくりに資する、阪神南地域安全まちづくり県民交流大会の開催

(3) 自転車まちづくりの推進 《9,300 千円》

【主な事業】

- ①市や民間事業者と連携した貸し自転車による、コミュニティサイクルの本格実施
- ②距離標、案内サイン、サイクルスタンドの設置等を行う、サイクリング環境の整備《新規》
- ③自転車関係事故を減らすため、市、警察署、交通安全協会等と連携して街頭で実施する、自転車運転マナーアップキャンペーン

(4) 快適な生活環境づくり 《10,300 千円》

【主な事業】

- ①海や川をきれいにし、大雨による浸水から暮らしを守る、流域下水道の整備・維持管理
- ②まちの品格・風格を高める街路樹の効果的な整備・維持管理及び、壁面緑化を進める、まちなみ緑化の推進
- ③水質浄化施設での人工干潟づくりなど、大学とともに共同研究を行う、尼崎運河水質浄化プロジェクト

(5) 地域活動の担い手の確保 《5,095 千円》

【主な事業】

- ①市民と行政が協働して取り組むための行動指針である「阪神市民文化社会ビジョン」の実現を目指す、阪神南地域ビジョンの推進
- ②地域特性に応じた青少年の育成等に積極的に参画する地域の担い手を養成する、こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業
- ③大学生の若い感性を生かした地域活性化を図るため、大学生が地域団体や事業者と連携して実施する、大学生による地域づくり活動への支援

(6) 安心できる医療・福祉サービスの確保

【主な事業】

- ①安定的・継続的に高度で良質な医療を提供するため、県立西宮病院と西宮市立中央病院を統合再編し新病院を整備【全県事業】
- ②阪神地域における脳性まひ等肢体不自由児者を主とした診療や、リハビリテーション等を行う拠点を設置【全県事業】

4 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

(1) 起業しやすい環境づくり 《1, 214 千円》

【主な事業】

- ①地域の大学に出向き、若者をターゲットにした起業家による公演会等を開催する、若者向け創業出前講座《新規》
- ②効果的な創業支援のあり方について協議する、若者の創業促進ネットワーク会議の開催
- ③起業プラザひょうごの成果や起業の盛り上がりを波及させるため、尼崎市と連携のもとで創業支援の地域拠点を尼崎市に設置【**全県事業**】

(2) 新事業展開への支援 《11, 184 千円》

【主な事業】

- ①優れたものづくり企業を「リーディングテクノロジー」として認定し、技術面での助言・指導等を通じて、コア技術の高度化や新技術の実用化を支援する、阪神南リーディングテクノロジー実用化支援事業《**拡充**》
- ②県内外の大規模展示会へ出展し、販路拡大を図る中小企業を応援する、産業フェア等への出展支援
- ③優れた技術・ノウハウを有し、競争力が高いオンリーワン企業を認定・顕彰するとともに、オンリーワンを目指す中小企業の販路開拓等の取組を支援【**全県事業**】

(3) 商店街等の活性化 《6, 600 千円》

【主な事業】

- ①学生が地域団体や事業者と連携して地域活性化等に資する活動を行うことで、新しい発想による地域・商店街の活性化手法を開発する、大学生による商店街活性化への支援
- ②観光関係団体や実行委員会等が実施する集客・交流イベント事業を支援することにより、地域のにぎわいを創出し、交流人口の増加、消費喚起を図るとともに、地域の魅力を内外に発信する、地域活性化集客イベント支援事業

注：予算額は、阪神南県民センター独自の地域創生に寄与する施策のみを計上